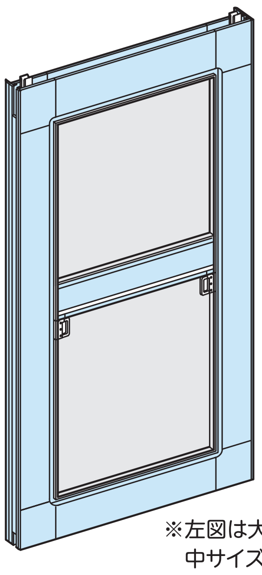
(19.03)　Tｲ-0019-05

OK組立アミド　　組立説明書

ISO 14001 9001 株式会社川口技研
営業本部 〒333-0844 埼玉県川口市上青木1-14-41
TEL 048(255)5411　　FAX 048(255)8228
ホームページ https://www.kawaguchigiken.co.jp/

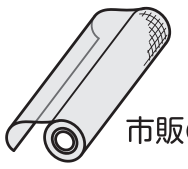
この度は、OK組立アミドをお買い求めいただきありがとうございます。組立説明書をよくお読みのうえ、正しく取付け・ご使用ください。

完成品(外側から見た場合)



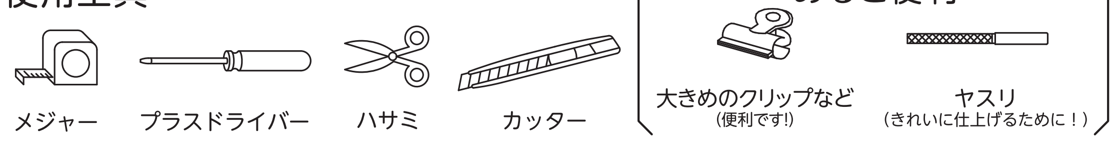
※左図は大サイズの完成品です。
中サイズの中桟には網押えは張りません。
また、小サイズには胴桟(中桟)はありません。

～ご注意～

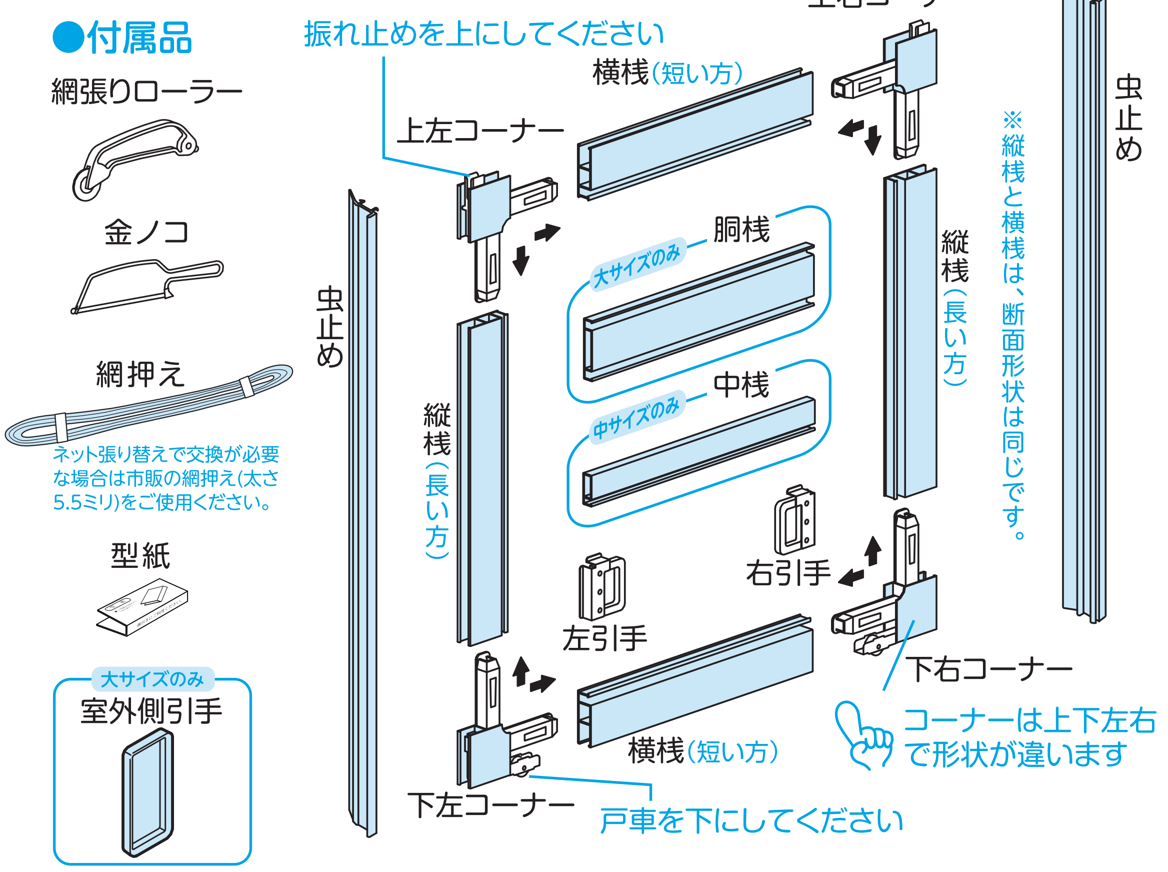


ネットは入っておりません。
網戸のH・Wよりも一回り大きめの市販のネットをご購入ください。

■使用工具



■部品と名称(室外から見た場合)



ご使用上の注意

⚠危険

- 網戸によりかかったりしないでください。はずれて転落するおそれがあります。
- 網戸の脱落防止のため、必ず**振れ止めを上に上げて固定してください。**

⚠注意

- 取付けやご使用の際には、網戸の角部等でケガをしないようにご注意ください。
- 製品を落とすと、アルミ枠にゆがみが生じることがあります。
取扱いには十分ご注意ください。
- 強風や突風の影響を受ける場合があるため、**7階以上には取付けしないでください。**

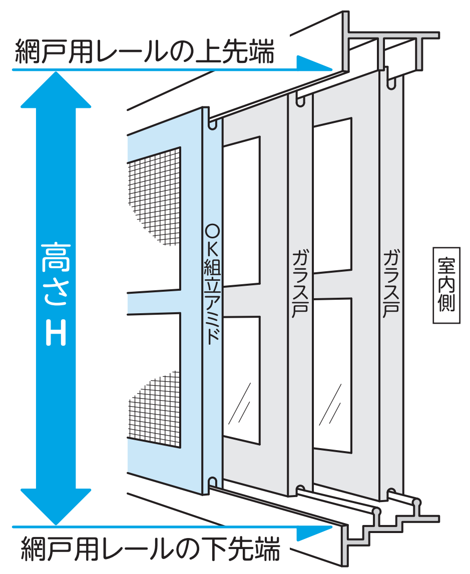
寸法の測り方

●下図を参考に **高さH** と **幅W** を測ってください。寸法はメジャー等でまっすぐ正確に、ミリ単位まで測ってください。

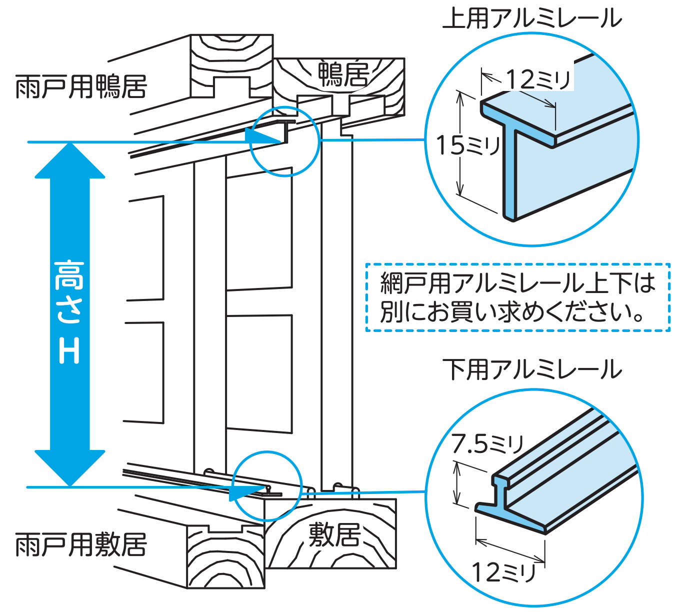
高さHの測り方

高さ H　　.　cm

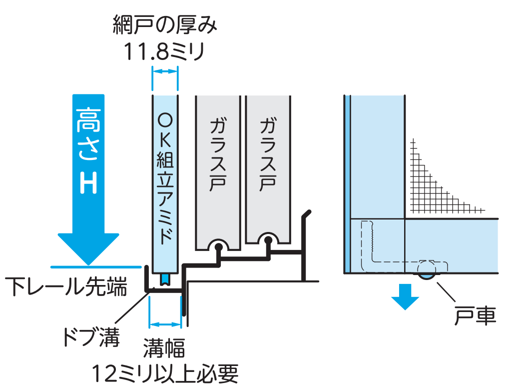
サッシ窓の場合



木製窓の場合

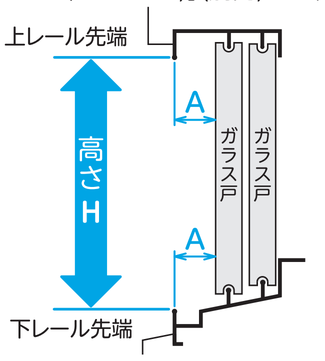


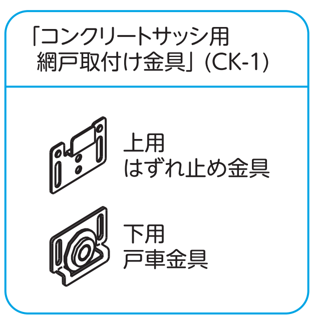
特殊なサッシ(ドブ溝)の場合



マンション・公共住宅等のサッシ

ガラス戸と網戸用レールのスキマ(図の A寸法) が7ミリ以下の場合、「コンクリートサッシ用取付け金具(品番CK-1)」(別売)をご利用ください。

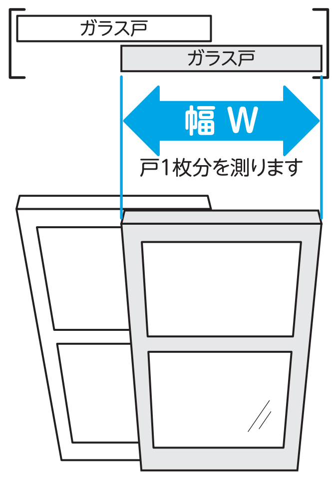




ご注意!
- 「コンクリートサッシ用 網戸取付け金具」(CK-1)をご利用の場合は、取付け時及び使用時の落下防止のため、ベランダがある窓に取付けてください。
- CK-1は強風による脱落防止のため、7階以上の高所や「OK組立アミド特大サイズ」には取付けできません。

幅Wの測り方

幅 W　　.　cm



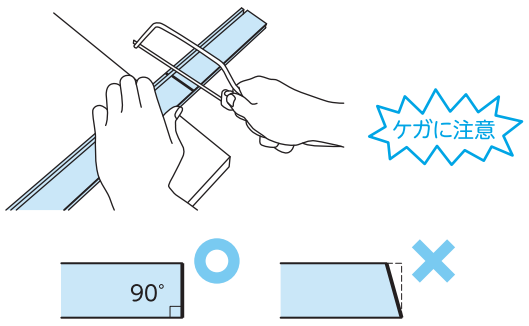
切断寸法の求め方

- 測った **高さH・幅W** より、部材の切断寸法を求めてください。
- 寸法はミリ単位まで計算してください。
- 計算のマイナスは、組立の際に足されるコーナー部品等の寸法をマイナスしています。

部材 / 本数	計算	切断寸法
縦桟 2本	高さH [　.　] cm マイナス 6.0 cm =	.　cm
横桟 (縦桟と同じ形) 2本	幅W [　.　] cm マイナス 7.8 cm =	.　cm
胴桟 (大サイズのみ) 1本	幅W [　.　] cm マイナス 7.4 cm =	.　cm
中桟 (中サイズのみ) 1本	幅W [　.　] cm マイナス 7.4 cm =	.　cm

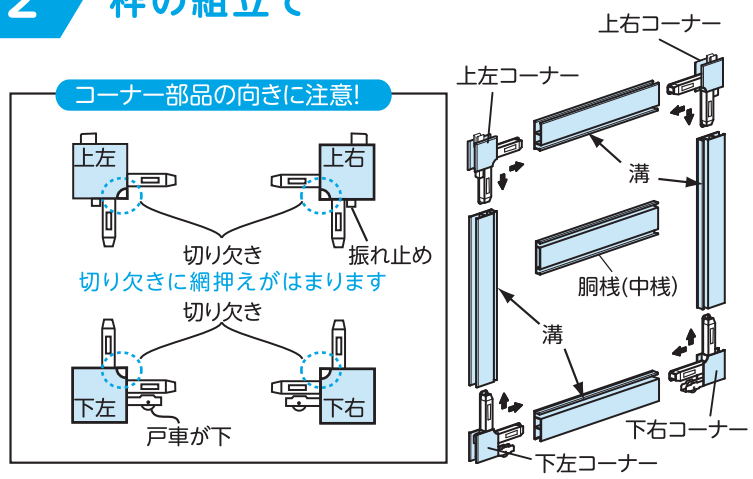
組立て順序

1 部材を切断する



オモテ面で算出した寸法に部材を切断します。
付属の型紙で、部材に切断線を表裏に書き、力を入れず、軽い力で往復させながら垂直に切断してください。切断面はヤスリ等で仕上げるとキレイに仕上がります。

2 枠の組立て

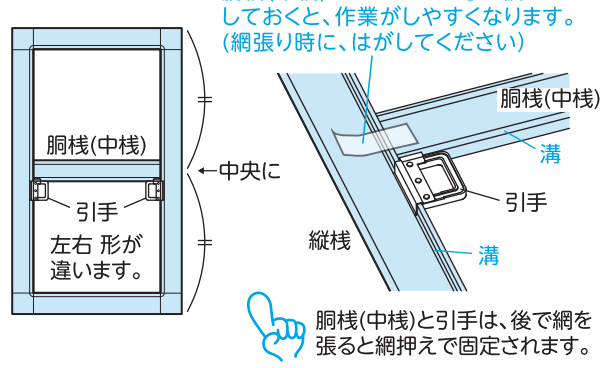


コーナー部品を桟に差し込み4辺を組み立てます。
(各桟は左図のように溝が見えるよう配置してください。)

コーナーの切り欠きと桟の溝が同じ面になるように組みます。

3 胴桟(中桟)と引手の取付け

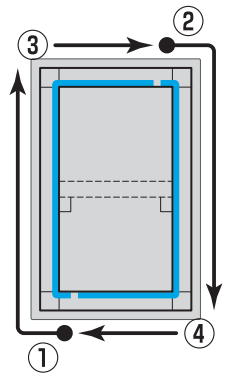
※胴桟(中桟)はセロテープ等で仮止めしておくと、作業がしやすくなります。(網張り時に、はがしてください)



胴桟(中桟)と引手は、後で網を張ると網押えで固定されます。

大・中サイズには、胴桟(中桟)があります。
胴桟(中桟)が縦桟の中央にくるように位置を決めます。
次に、引手の金具部分を縦桟と胴桟(中桟)の溝に入れます。
小サイズには胴桟(中桟)がありません。縦桟の中央に引手がくるように縦桟の溝に引手の金具部分を入れてください。

4 ネットを張る

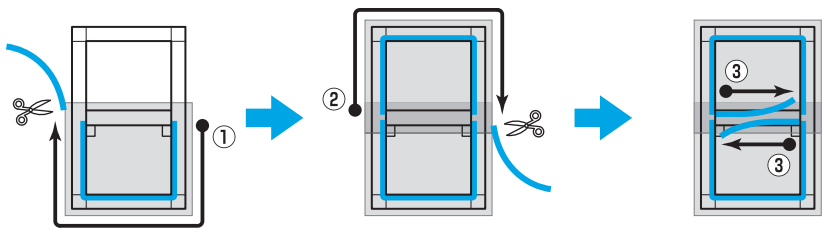


基本の張り方

網押えを半分に切ります。
一方の端をコーナーの少し手前から押し込み、縦の辺を張ります。
左図の順序で4辺を張ってください。
ネット張り方法については右図をご参照ください。

ネットを張り分ける場合 (大サイズのみ)

大サイズはネットを上下で張り分けることもできます。



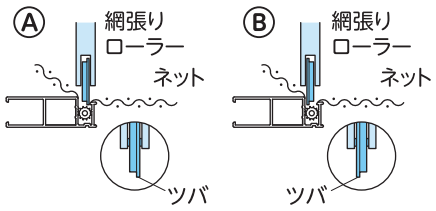
①始めに下側を張ります。網押えは胴桟の真ん中まで張ってください。

②次に上側を同様に張ります。

③胴桟に張ります。胴桟がズレないよう両端を10cm程度張ってから残りを張ってください。

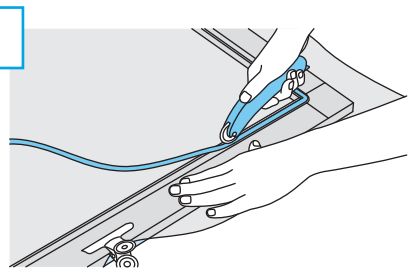
ネット張りのポイント

網張りローラーの向きについて



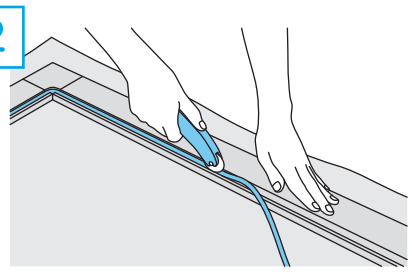
網張りローラーのツバは、Ⓐの向きで張るとネットをピンと張ることができますが、ネットが切れる恐れがあります。薄いネットをご使用の場合はⒷの向きで張ってください。

1



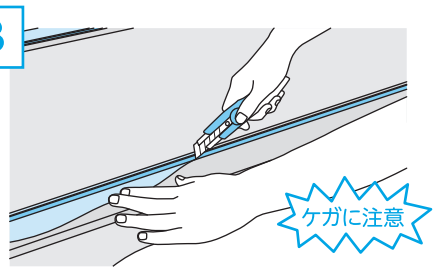
ネットを網戸より少し大きめに切り、網目が枠と平行になるようにネットを置き、クリップ等で止めます。ローラーで網押えを端から押し込んでいってください。

2



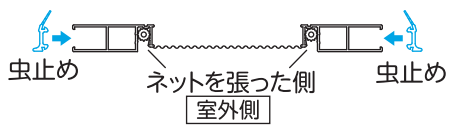
対辺を張るときは、ネットを少し枠外側に引っ張りながら張ってください。
引っ張りすぎると、ネットが切れたり枠が歪む恐れがあります。

3

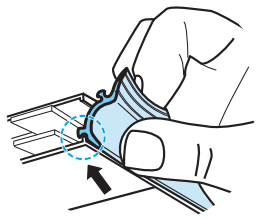


ネットがきれいに張れていることを確認したらカッターで余分なネットを切り取ります。
シワが寄っている場合は、切る前にその部分だけ網押えを外して張り直してください。

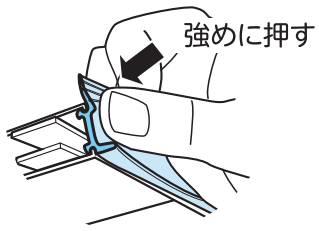
5 虫止めの取付け



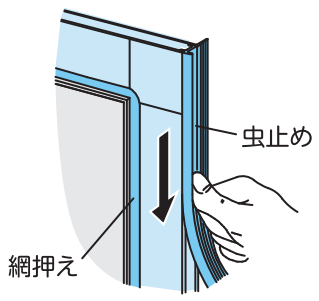
①虫止めの突起部分を先に入れます。



②もう片方を強く押します。



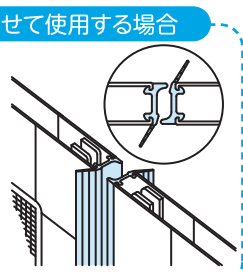
③上から順にはめ込みます。網戸の長さにハサミで切断します。



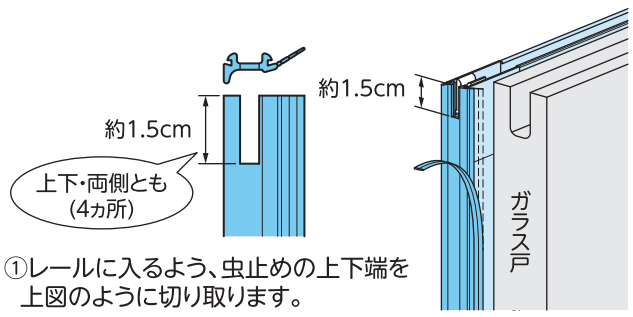
アミドを2枚つき合わせて使用する場合

虫止めを組み合わせて使用

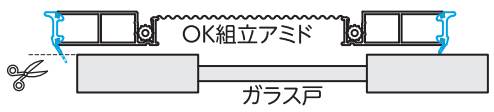
図のように虫止めを互い違いになるよう組み合わせて使用してください。



6 虫止めのカット

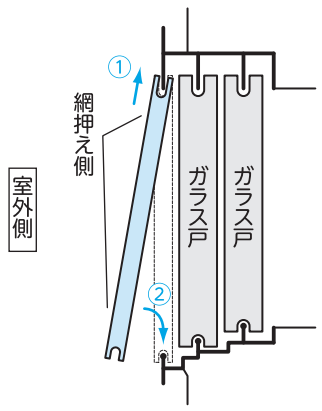


①レールに入るよう、虫止めの上下端を上図のように切り取ります。



② 7 を参考にアミドをいったん網戸用レールにはめ込みます。
虫止めがサッシ戸と軽くこする長さになるようにように、サッシと重なる部分をハサミで切り取ってください。

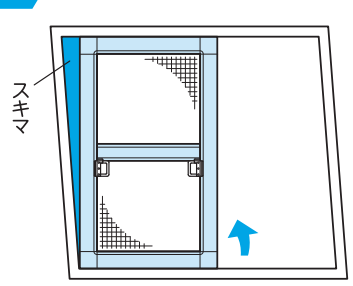
7 レールへのはめ込み



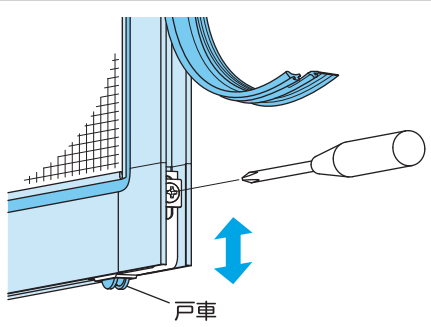
ネットを張った側が外側になります。
図のように網戸を網戸用レールにはめ込みます。
網戸の調整方法 8 9 を行ってください。

網戸の調整方法

8 建付調整

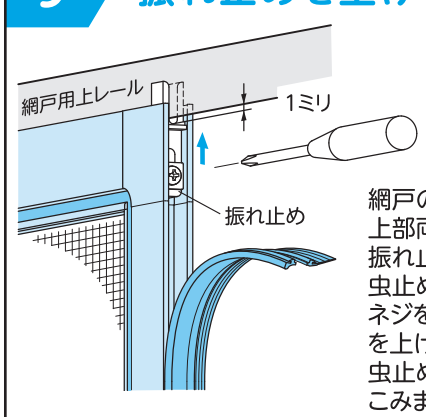


上図のように網戸とサッシ枠の間にスキマができた場合は、建付調整が必要です。



上げたい方の戸車を下げて調整します。
虫止めを部分的に外します。
側面のネジを緩めて戸車を下げ、スキマがなくなるよう高さを調整してください。

9 振れ止めを上げる



網戸の脱落防止のため、上部両側コーナーの振れ止めを上げます。
虫止めを部分的に外し、ネジを緩めて振れ止めを上げて固定します。
虫止めを元通りにはめこみます。

メンテナンス方法

●網戸のお手入れ
日常的には乾いた布で拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を雑巾等に付けて拭いてください。その後水拭きし、カラ拭きしてください。

●交換部品
各部品の切断ミスや紛失時は、交換部品(有償)のお取り寄せが可能です。
(お問い合わせ・ご注文は、お買い求め頂いた販売店にお願いいたします。)

●交換用網押え
網押えは交換ができます。
交換が必要な場合は市販の網押え(太さ5.5ミリ)をご使用ください。